

3月議会定例会

令和6年度一般会計当初予算は
総額36億8千7百万円

(前年度比7.6%増)

令和6年3月議会定例会が、3月5日から14日までの8日間にわたり開催され、条例の一部改正や藤里町過疎地域持続的発展計画の一部変更、町有財産の無償貸付、令和6年度各会計当初予算案等の48議案が提案され、いずれも可決されました。令和6年度一般会計当初予算の総額は36億8千7百万円で、前年度当初予算より2億6千2百万円増の予算となっています。



行政報告

◆ 新年度予算について

本町の令和6年度当初予算については、国の動向を踏まえ、「藤里町まちづくり計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「藤里町過疎地域持続的発展計画」を基本に据え、今後も続く厳しい財政状況のなか、引き続き財政健全化に取り組み、限られた財源の中で創意工夫を凝らし、人口3,000人の行政規模を追求した効率的・効果的な施策・事業を実施することを目標に編成にあたってまいりました。

行政の更なる改善と、財政基盤の確立強化とともに、住民ニーズに対応した事業を進めてまいりますので、

何卒、よろしくお願い申し上げます。

◆ 令和6年度米に係る生産の目安について

国が示した令和6年度産米の生産の目安は、日本国内で消費される主食用米が年々減少している中で、令和7年6月末の民間在庫量が安定供給を確保できる数量を目処として算出し、前年と同数の6,69万トンと設定されました。

昨年12月には、秋田県全体の生産の目安が示されており、全国生産数量と県産米シェアから算出した数値と、需給動向と適正在庫量から算出した数値の中間値を基本とし、必要に応じて直近の販売状況を踏まえた補正を行って算出されており、生産数量2,600トン増の401,300トン、面積換算で449ヘクタール増の69,549ヘクタールとなりました。

これを受けて、1月25日に藤里町再生協議会臨時総会を行い、藤里町の生産の目安を生産数量は、前年比14トン増の226トン、面積は2.75ヘクタール増の406.20ヘクタールと決定いたしました。生産数量、面積ともに微増はして

おりますが、基本的な考えは、令和5年産米の目安と同水準としております。

各農家への目安については、昨年と同様に水田を耕作している全農家を対象に同率で算定し、その目安を方針作成者であるJAあきた白神と町農業再生協議会の連名により、JA共同班長に対して2月15日付けで通知したところです。

生産数量につきましては、方針作成者であるJAが、国からの各種交付金を見据え、営農計画の取りまとめを行うこととしておりますが、令和6年度産米においても、飼料用米及び高収益作物への転換が推進されていることから、国の農業施策の変動を踏まえた上で、令和6年度も、引き続き町独自の事業を当初予算に盛り込んでおります。

◆ 介護保険料について

2月から「第9期介護保険事業計画策定委員会」を開催し、検討してまいりました結果、人口減少の見込み、被保険者数、要介護認定者数の減少などが見込まれ、介護報酬の改定や施設サービス給付費の伸びは見込まれるところですが、町の保険料基準額は、据え置き月額7,800円とし、委員会の承認をいただいたところでありました。

同時に、国では、介護保険制度の見直しを行うこととしており、介護保険制度の持続可能性を確保する観点から、介護保険料を、所得の再分配政策と低所得者の保険料の上昇抑制を図ることを目的に、現行の9段階制から13段階制へ改正する